



# 望洋荘便り

第 33 号  
平成 18 年  
8 月 8 日 発行

## 八月 お盆 迎え火 送り火

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 湜

八月 お盆の行事は、お正月の行事と似ています。日本では昔から、盆と正月が一度に来たような

といったふうに、盆と正月をワン・セットにして考えていました。

お正月というのは、カミになったご先祖様の靈魂を各自の家に迎える行事です。お正月には門松をたてます。その門松にカミが招きよせられるというのです。それに対してお盆は、まだカミになっていない、ホトケの段階にあるご先祖様の靈魂がそれぞれの家に帰ってこられるのを迎える行事です。だいたいにおいて、三十三回忌が終わっていない靈魂がホトケです。三十三回忌が終わると、ご先祖様の靈魂はカミになります。だから三十三回忌を弔い上げといっています。お盆はまた精霊会（しょうりょうえ）とも呼ばれ、精霊というのはホトケのことなのです。お盆（精霊会）にはホトケが帰ってこられるのですから、これを迎えるために精霊棚が作られます。この精霊棚がお正月の門松と同じ意味合いをもっているのです。

お盆は、昔は旧暦の七月十五日の行事でした。いわきでは現在は、月遅れの八月十五日が一般化して、精霊迎えは八月十三日に行われています。そして、お盆が終わると八月十六日には精霊流しが行われます。家々に迎えていたご先祖様の

靈魂（ホトケ）を川や海に送り出したものです。

お盆にはご先祖様の靈魂が各自の家に帰ってこられます。それを迎え火を灯して一族が集まってお迎えするのです。だからお盆はめでたい行事なのです。昔の人は、「結構なお盆で、おめでとつございます」と挨拶しました。ただし、一年以内に近親者を亡くした新盆の家もあり、そういう人には、「新盆でお淋しゅうございます」といった言葉をかけることになっていきます。お盆には親族の全員が集まってご先祖様をお迎えることが大事です。そして、みんなで一緒に食事をします。

遠くに離れていた子供たちも、お盆になると親の家にお土産持って帰ってきます。みんなで一緒に食事をするためのお土産だから、たいていは食料品です。そのようなお土産がお中元だったので。それゆえ昔は、お中元は親族の間での遣り取りでしたが近年はすっかり変わってしまいました。

それから、盆踊りがあります。盆踊りというのは、ご先祖様の靈魂の鎮めをやっているのです。このようにお盆というのは、日本人独特の行事で、仏教の行事というより、日本民族の伝統的な宗教行事なのでしよう。

「望洋荘」に在住している方々は、ここを「終の棲家」として生活を楽しんでいきます。職員は家族の一員として、お盆を迎えるにあたって、迎え火を灯し、それぞれの「ご先祖様を迎えてあげて、心温まる食事会をして下さい。各ユニットでお盆の行事の催しもいいですね。八月十六日には送り火を灯し日本人の心の行事を忘れないように、それぞれの心の中に焼き付けてほしいものです。

\* 参考資料 - 「お盆のはなし」ひととき六巻八号ひろ さちや著

「花火大会」を開催しました。

八月四日（金）午後七時より一時間、正面玄関前にて花火大会を開催致しました。



入居者様全員参加で行われました。花火を手に持って火を付けてもらって楽しんだり、色とりどりの花火を見て楽しんで頂きました。皆様には夏の季節を大いに味わって戴けたと思います。初めての夜の行事であり不安もありましたが、楽しく実施する事が出来ました。

「盆踊り見学」豊間ユニット

八月十二日（土）午後六時に出発して、沼の内第一公園で行われている盆踊りを見学して来ました。



豊間ユニットの入居者様 10 名を『沼の内地区盆踊り』に行ってきた。3 名の入居者様は数年ぶりに浴衣に袖を通したと大喜びでした。又、久しぶりに見た盆踊りに普段では見られないほどの笑顔がたくさん見られました。

「バーベキュー」永崎ユニット

八月十六日（水）お昼の時間に永崎ユニットの軒下にてバーベキューを行いました。



永崎ユニットの入居者様 11 名が参加されました。比較のお肉が好きの方が多く、バーベキューをやりたいとユニット職員が企画して行われました。初の試みでありましたが、入居者様も大喜びで、焼肉や野菜そしてカレーライス・やきそば・つぶ貝の炊込ご飯を美味しく食べられました。

「いわき寄席」出演者の色紙集から

「いわき寄席」出演者の直筆の色紙を紹介致します。

古今亭 右朝師匠の作品です。

第二一回記念いわき寄席 平成五年二月十八日

(演目) 試し酒、中村仲蔵

第五一回記念いわき寄席 平成十年二月十四日

(演目) 百年目、粗忽の使者

「第一〇〇回記念いわき寄席」のご案内

いわき寄席の始まりは、平成元年八月二三日に第一回いわき寄席を開催し、一八年の間に数多く落語家さんに起こし頂き、多くのいわきの方々で落語の楽しさを伝える事が出来たと思います。今回は百回という節目の会を迎える事が出来ました。まだお聴きに來た事が無い方は、是非この機会に、ご来場ください。

平成一八年一〇月二四日(火)

午後六時三〇分開演 入場無料

場所「いわき市文化センター大ホール」

落語家

落語家

五街道 雲助 師匠

ご家族、お友達お誘いの上おいで下さい  
笑う門には福来るといいます。

笑いは家族円満

主催 医療法人あさうら会 須田医院



古今亭 右朝 師匠  
(第 21 回いわき寄席 H5.2.18)  
おのが生きてると  
お前は生かされてるのだ  
南無阿弥陀仏 南妙法蓮華經



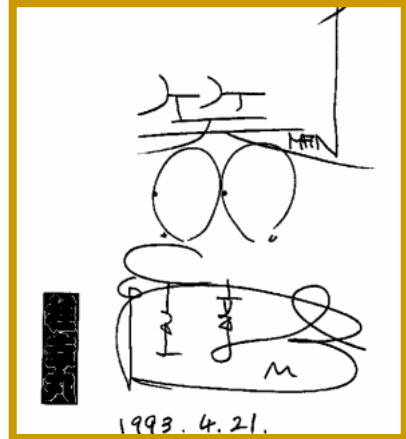
古今亭 右朝 師匠  
(第 21 回いわき寄席 H5.2.18)  
愛話成仏



古今亭 右朝 師匠  
(第 21 回いわき寄席 H5.2.18)  
水ぬるむ  
頃の酒なり  
枡で冷や



古今亭 右朝 師匠  
(第 21 回いわき寄席 H5.2.18)  
田中家の角栄君  
子供の頃の夢



桂 幸丸 師匠  
(第 22 回いわき寄席 H5.4.22)  
笑 MAN  
(ショウマン)  
桂 幸丸

桂 幸丸 師匠の作品です。  
第二一回記念いわき寄席 平成五年四月二日  
(演目) 東北新幹線 片棒



太田 そのさん  
柳亭 こみちさん



こかいお 五街道  
本名 若林 恒夫  
生年月日 昭和 22 年 3 月 2 日  
出身地 東京本所  
芸 暦 昭和 43 年 2 月  
明治大学 中退後、十代目金原亭馬生に入門 前座名「駒七」  
昭和 47 年 11 月 二ツ目昇進 「五街道雲助」と改名  
昭和 56 年 真打昇進  
得意ネタ 廓 圓朝 嘸趣 味  
パソコン ビデオ鑑賞 ゼビウス

くもすけ 雲助



「平の七夕見物」薄磯ユニット

八月八日（火）一〇時から約一時間半、平の七夕を見物に行きました。



薄磯ユニットの入居者様 6名で七夕を見学に行ってきました。見物するのは皆様数十年ぶりとの事でした。色々と綺麗に飾り付けされた町並みを見物したり、カキ氷を食べたりと大変楽しまれました。昔からのお店を見つけて、懐かしがる光景などもありました。

「フラワーセンター」に行ってきました

八月二日（木）一〇時から約一時間半、フラワーセンターにて各種花々を觀賞して来ました。



四倉・薄磯ユニット各4名、合計8名の入居者様参加されました。フラワーセンターで様々な花や樹々を觀賞しました。久しぶりの外出であり、広々としたセンター内を自由に散策されとても気持ち良く楽しめました。

『望洋荘入居者家族の会』を作る提案

望洋荘が開設して早くも三年目を迎えました。開設当初望洋荘便り平成十五年二月号に望洋荘入居者家族の会について、当法人理事長より提案させて頂きましたが、私どもの不手際で、放置したままの状態となっておりました事、誠に申し訳ございませんでした。

望洋荘入居者家族の会は、望洋荘に入居されている入居者様のご家族で構成され、悩み事や施設に対しての疑問や要望などを、気軽に話し合い、互いにコミュニケーションを図ります。今まで施設に対して遠慮して言えなかつた事など、望洋荘入居者家族の会といつ大きな力で、意見や要望を出したりする事も出来ます。施設は皆様が気軽に集まられる心より所であればならぬと思っております。この様な環境作りの為に、望洋荘入居者家族の会』の結成を考えています。

お願いになりますが、もし望洋荘入居者家族の会』の世話役を引受けて頂けるご家族様が居られましたら生活相談員（小田坂本 勝見）までお申し出ください。様 お願い致します。面倒な事務等は施設職員がお手伝いさせて頂きますので是非お願い致します。

今月の言葉その (倫理研究所編纂語集から)

ある時もない時もない  
いつもない時もない  
お金にふりまわされ、いつもガツガツしている人に出くばると、ほんのお金持ちはいつでも心が感謝にあふれている。

編集後記  
『望洋荘』便り  
平成十八年八月一日発行  
発行所 いわき市 平豊間字合磯三十九番地

社会福祉法人 りんさく福祉会  
介護老人福祉施設 望洋荘  
電話 (0246) 55 7373  
FAX (0246) 55 7255